

smile life

胃癌術後地域連携パス

関西労災病院 消化器外科
2010年4月

関西労災病院 外科
担当医

診察日(_____)

かかりつけ医

目次

- 手術について
- 胃癌の進行度
- 術後治療
- 術後治療・検査の要約
- ステージ I Aの術後経過表
- ステージ I Bの術後経過表
- ステージ II ~ IIIの術後経過表
- 術後検査結果CT・内視鏡
- 血液検査
- メモ

手術について

• 手術の日 年 月 日

術式 1) 胃部分切除術

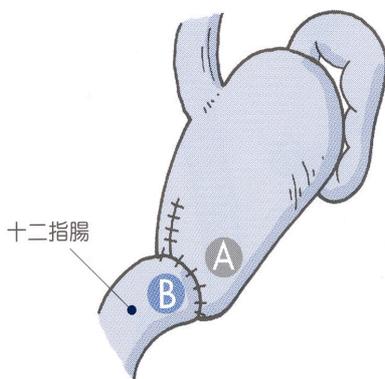
2) 幽門輪温存胃切除術

3) 幽門側胃切除術

4) 噴門側胃切除術

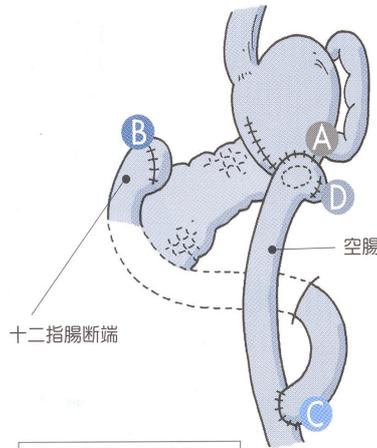
5) 胃全摘術

□ 腹腔鏡下手術



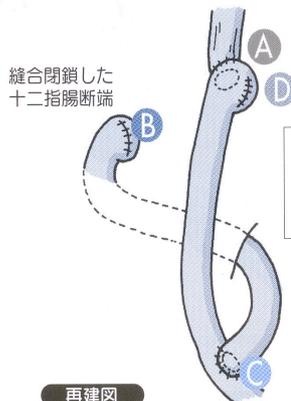
残胃と十二指腸をつなぎます。

ビルロートI法



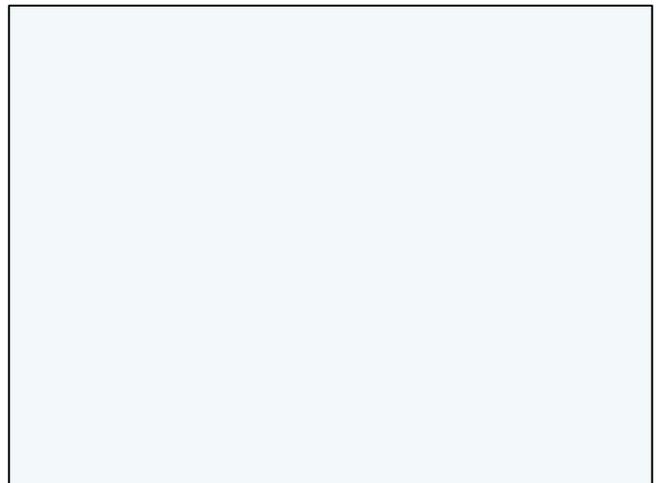
残胃と空腸をつなぎます。
十二指腸の断端は閉じます。

ルーワイ法



食道(A)に挙上した空腸(C)
をつなぎます。
十二指腸から続く空腸(B)は
挙上した空腸の側壁に
つなぎます(再建法の一例)。

再建図



胃がんの進行度

- 病期の進行度は手術時の所見と切除された胃とリンパ節の病理結果から決定されます。
あなたの病理結果は
(高分化・中分化・低分化)型腺癌・印かん細胞癌・
乳頭腺癌・粘液癌で
深達度(T1a・T1b・T2・T3・T4a・T4b)
リンパ節転移(N0・N1・N2・N3)です。
よって進行度は下記の表のように
ステージ(ⅠA, ⅠB, ⅡA, ⅡB, ⅢA, ⅢB, ⅢC)でした。

進行度分類

	N0	N1 (1~2個の転移)	N2 (3~6個の転移)	N3 (7個以上の転移)	T/NIにかかわらず 遠隔転移あり
T1a(M:粘膜癌)	ⅠA	ⅠB	ⅡA	ⅡB	Ⅳ
T1b(粘膜下層癌)					
T2(固有筋層)	ⅠB	ⅡA	ⅡB	ⅢA	
T3(漿膜下組織)	ⅡA	ⅡB	ⅢA	ⅢB	
T4a(漿膜をこえる)	ⅡB	ⅢA	ⅢB	ⅢC	
T4b(他臓器におよぶ)	ⅢB	ⅢB	ⅢC	ⅢC	

ステージⅡAからⅢCでは術後補助化学療法が推奨されます。

術後治療について

- 手術では病変部は肉眼的には全て切除されています。
- しかし、術後経過中に再発をきたすことがあります。再発は進行度（ステージ）が高いほど頻度が高くなりますのでステージによって、術後の検査の間隔や治療法が変わってきます。
- この冊子には、進行度に応じた術後検査や治療が要約して記載されていますので、記載されたスケジュールにそって、当院とかかりつけ医の先生の連携の上で診察・検査していきます。
- ただし、胃がんにおいては再発後の治療効果は期待できるものの治癒することは多くありません。しかし、比較的早期に再発の診断を見つけ、適切な治療を受けることによるメリットはたくさんありますので、この冊子スケジュールにそって検査を受けてください。

術後治療・検査の要約

- **ステージ I A**

まず、再発することはありませんので、術後補助化学療法(抗がん剤治療)の必要はなく、またCT等の検査は年一回になります。

- **ステージ I B**

再発はほとんどなく術後補助化学療法の必要はありませんが、CTや超音波等の検査は術後2年間は6ヶ月に一回、以後は1年に一回になります。

- **ステージ II ~ III**

術後補助化学療法が推奨されています。

基本的には1年間のTS1という経口抗がん剤を飲んでもらいます。ただし、高齢者や合併症のある患者さんでは、副作用が強くなる場合がありますので、実施にあたっては主治医とよく相談してください。

(抗がん剤治療については別の冊子を参考にしてください。)

また、CTや超音波等の検査は原則的にはステージ II から III では6ヶ月ごとになります。

<注意>

術後の検査は胃がんの再発をできるだけ早く発見するための検査です。主には肝転移やリンパ節転移、腹膜転移等の有無をチェックします。腹膜転移などCTでは早期診断が難しい再発部位もあります。

また、他の部位の癌などを全て検査するものではありませんので、大腸がん・乳がんや子宮がんなどの検査や通常健康診断も別途受けてください。

ステージ I A

f X0 e0 [0 W0 T A0 0 0 0 診察 検査予定表

術後 受診 検査は現在治療中の病気や体調により変化します。

	1-2週間	1-2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年	1年3ヶ月
病院	/		/		/		/	
診察	●		●		●		●	
採血	●		●		●		●	
CT							●	
エコー								
胃カメラ							○	
かかりつけ医	/		/		/		/	
診察		●		●		●		●
採血		●		●		●		●
エコー								
胃カメラ							○	

※●は必須、○はどちらかの施設で実施する。

血液データ（病院でもらった血液検査プリントをご自身で書き写してご利用下さい）

H b								
A I b								
T - chol								
Fe								
Ca								

腫瘍マーカー 基準値（病院） CEA: ng/ml, CA 19-9 ng/ml, CA 125 ng/ml

CEA								
CA19-9								
CA125								

術後状態（受診日前に状態をご自身でご記入ください）

体重	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
食欲	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3
食事量	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D				
食事回数	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
便通	a b c d	a b c d	a b c d	a b c d	a b c d	a b c d	a b c d	a b c d
便回数	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
食欲		食事量			便通			
1.旺盛		A 前と同じくらい			a 良好			
2.まずまず		B 3分の2程度			b 便秘がち			
3.あまりない		C 半分程度			c よく下痢をする			
		D 半分以下			d 下痢 便秘を繰り返す			

腫瘍マーカーはCEA,CA19-9,CA125などから選択したものを測定します

ステージ I B

f Xa eo [o Wo TBo o o 診察・検査予定表

術後 受診・検査は現在治療中の病気や体調により変化します。

	1-2週間	1-2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年	1年3ヶ月	1年6ヶ月
病院	/		/		/		/		/
診察	●		●		●		●		●
採血	●		●		●		●		●
CT					○		●		○
エコー					○				○
胃カメラ							○		
かかりつけ医	/		/		/		/		/
診察		●		●		●		●	
採血		●		●		●		●	
エコー					○				○
胃カメラ							○		

※●は必須、○はどちらかの検査あるいは施設で実施する。

血液データ（病院でもらった血液検査プリントをご自身で書き写してご利用下さい）

H b									
A l b									
T - chol									
Fe									
Ca									

腫瘍マーカー 基準値（病院） CEA: ng/ml, CA19-9 ng/ml, CA125 ng/ml

CEA									
CA19-9									
CA125									

術後状態（受診日前に状態をご自身でご記入ください）

体重	kg								
食欲	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3
食事量	A: B: C: D								
食事回数	回/日								
便秘	a b c d	a b c d	a b c d	a b c d	a b c d	a b c d	a b c d	a b c d	a b c d
便秘回数	回/日								

食欲 1.旺盛 2.まずまず 3.あまりない	食事量 A 前と同じくらい B 3分の2程度 C 半分程度 D 半分以下	便秘 a 良好 b 便秘がち c よく下痢をする d 下痢・便秘を繰り返す
--	---	--

腫瘍マーカーはCEA,CA19-9,CA125などから選択したものを測定します

ステージⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB・ⅢC

f Xa eo [o Wo Uo `o Vo o 診察・検査予定表

術後 受診・検査は現在治療中の病気や体調により変化します。

1-2週間 1-2ヶ月 3ヶ月 4ヶ月 6ヶ月 9ヶ月 1年 1年3ヶ月 1年6ヶ月

抗癌剤治療									
TS-1(80mg/ 100粒/120粒)ロ									
UFT-E顆粒									
抗癌剤治療を行う患者さんは別メニューで経過観察									
病院	/		/		/		/		/
診察	●		●		●		●		●
採血	●		●		●		●		●
CT					○		●		○
エコー					○				○
胃カメラ							○		
かかりつけ医	/		/		/		/		/
診察		●		●		●		●	
採血		●		●		●		●	
エコー					○				○
胃カメラ							○		

※●は必須 ○はどちらかの検査あるいは施設で実施する。

血液データ（病院でもらった血液検査プリントをご自身で書き写してご利用下さい）

Hb									
Alb									
T-chol									
Fe									
Ca									

腫瘍マーカー 基準値（病院） CEA: ng/ml, CA19-9 ng/ml, CA125 ng/ml

CEA									
CA19-9									
CA125									

術後状態（受診日前に状態をご自身でご記入ください）

体重	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg															
食欲	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3															
食事量	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D															
食事回数	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日															
便通	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d															
便回数	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日															
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">食欲</td> <td style="width: 33%;">食事量</td> <td style="width: 33%;">便通</td> </tr> <tr> <td>1.旺盛</td> <td>A 前と同じくらい</td> <td>a 良好</td> </tr> <tr> <td>2.まずまず</td> <td>B 3分の2程度</td> <td>b 便秘がち</td> </tr> <tr> <td>3.あまりない</td> <td>C 半分程度</td> <td>c よく下痢をする</td> </tr> <tr> <td></td> <td>D 半分以下</td> <td>d 下痢、便秘を繰り返す</td> </tr> </table>										食欲	食事量	便通	1.旺盛	A 前と同じくらい	a 良好	2.まずまず	B 3分の2程度	b 便秘がち	3.あまりない	C 半分程度	c よく下痢をする		D 半分以下	d 下痢、便秘を繰り返す
食欲	食事量	便通																						
1.旺盛	A 前と同じくらい	a 良好																						
2.まずまず	B 3分の2程度	b 便秘がち																						
3.あまりない	C 半分程度	c よく下痢をする																						
	D 半分以下	d 下痢、便秘を繰り返す																						

外来日には、別途にお渡しましたティーエスワクすりのしおり、服薬日誌を付けてお持ち下さい。
腫瘍マーカーはCEA,CA19-9,CA125などから選択したものを測定する

退院後の食生活について

退院後の生活について

『ダンピング症候群』の対処方法

『早期ダンピング症候群』

食後30分以内に、「めまい」「嘔吐」「胸け」「腹痛」「下痢」などの症状が起こります。

原因は、急激に腸内へ高濃度の食べ物が移動し、腸の動きが急激に活発になることによって貧血のような状態になるためです。

【対処方法】

症状が治まるまでいすに腰掛けるか、背もたれを作りゆっくり休息してください。

次の食事は、一度抜いたり一回量を減らしてください。食事時間をさらに5～10分延ばしてください。

『後期ダンピング症候群』

食後2～3時間後に、「体がだるい」「めまい」「発汗」「手指のふるえ」などの症状が起こります。

原因は、血糖値を下げるインシュリンが働きすぎ、低血糖になるためです。

【対処方法】

血糖値を上げるために、飴やチョコレートを2, 3個食べてください。

食後2時間あたりに少量のおやつを食べると良いです。

食事の摂り方の⑤箇条

- ①一回量は少なめに！
- ②よく噛んで！
- ③30～40分かけて！
- ④水分は食間に！
- ⑤食後は座って20～30分！

便秘にご注意！

食事に意識を取られてしまい、手術後は水分を取ることを忘れてしまったり、水分を控えてしまいがちです。

水分量が少ないと、便が硬くなってしまい便秘傾向になります。

便秘になると、お腹が張り食事が食べられなくなったり、術後腸閉塞の誘因となります。

食事中に水分を飲むと食事が食べられなくなりますので水分は食間に、こまめに飲むようにしてください。

このような時は医師の診察を受けましょう。

受診は、かかりつけ医でも関西労災病院外科外来でもかまいません。

- ◆つかえ感が出てきて、食べられなくなった。
- ◆食べても吐いてしまう。
- ◆排便が何日もなく、お腹が張ってきた。
- ◆腹痛が治まらない。
- ◆発熱が続いて下がらない。

術後検査結果 (CT)

検査時期	所見
術後 〇ヶ月	
術後 〇ヶ月	
術後 1年	
術後 1年6ヶ月	
術後 2年	
術後 2年6ヶ月	
術後 3年	
術後 3年6ヶ月	
術後 4年	
術後 4年6ヶ月	
術後 5年	

術後検査結果（胃カメラ）

検査時期	所見
術後 1年 実施施設	
術後 2年 実施施設	
術後 3年 実施施設	
術後 4年 実施施設	
術後 5年 実施施設	

血液検査(病院分)

血液検査（ ）

血液検査について

- 白血球数: 身体の防御等に関係した血液中の細胞で、
(WBC) 炎症性の病気などで増加します。
抗癌剤で骨髄機能が障害されると低下します。3000以下では原則的に抗がん剤治療は延期です。
- 赤血球数: 貧血の診断に用います。
(RBC)
- ヘモグロビン: 貧血の診断に用います。
(Hb) (赤血球に含まれる重さの指標)
- ヘマトクリット: 貧血の診断に用います。
(Ht) (赤血球の割合、体積の指標)
- 血小板数: 出血を止める時に用いられます。
(Plat) 血液の病気、肝機能障害などで増減します。抗癌剤治療中も低下に注意が必要です。
- 血液像: 血球の割合を分類します。化学療法時は好中球の減少に注意が必要です。

- **肝・膵機能**

- AST(GOT): 酵素の一種で、肝機能障害や心筋梗塞で上昇します。
- ALT(GPT): 酵素の一種で、肝機能障害などで上昇します。
- γ -GTP: 酵素の一種で、肝機能障害、胆道の障害、過度の飲酒などで上昇します。
- ALP: 酵素の一種で、肝臓や胆道系の病変で上昇します。また、くる病や骨軟化症などでも増加する事があります。
- 総ビリルビン: ヘモグロビンが分解されて出来る物質で黄疸の原因となります。肝臓病、胆道閉塞、溶血性貧血などで上昇します。
- 総蛋白: 血清中の蛋白の総量です。肝臓病や栄養障害で低下します。
- アルブミン: 蛋白質の一種で、肝臓病や栄養障害で減少します。

- **腎機能**

- 尿素窒素・クレアチニン: 蛋白質の老廃物でいずれも腎臓から尿中へ排出されます。腎臓機能が低下すると上昇します。

- **脂質・代謝**

: 総コレステロール脂肪の一種。栄養障害では低下します。

- **血清・炎症**

CRP: 人体中に炎症が起こると増加する蛋白です。

- **腫瘍マーカー**

- CEA: 腫瘍マーカーのひとつです。大腸がんなどの腺癌で上昇します。
- CA19-9: 腫瘍マーカーのひとつです。膵臓がんなどで上昇します。
- CA125: マーカーのひとつです。卵巣がん、肺がん、胃癌などで上昇します。

